

省エネルギー部門

大賞

受賞者名 株式会社阿寒グランドホテル 〒085-0467 釧路市阿寒町阿寒湖温泉4丁目6番10号 TEL 0154-67-2531 FAX 0154-67-2754 URL http://www.tsuruga.com		代表取締役 大西 雅之	
設立年月 従業員数 資本金	昭和31年 3月 550名 5,000万円	事業 概要	・ホテル業経営、飲食店経営、土産品の販売、 旅行代理店経営

取組内容

鶴雅グループ「ゼロカーボンプロジェクト」

温泉施設における熱回収及びヒートポンプにより、重油消費量、CO₂排出量の大幅削減を行い、エネルギー使用量、環境負荷の低減に貢献。

取組概要

高温の温泉を新規に調達し、熱交換などにより化石燃料の大幅な削減を実施しているものであり、観光資源でもある道内の豊富な温泉資源の有効な活用方法として波及が期待されるとともに、未利用温泉熱及び温泉排熱のエネルギー利用の熱交換システムによって、道内で国内クレジット制度の利用にいち早く取り組むものであり、先進性が高く、他の省エネルギーの取組における国内クレジット活用と環境配慮型の観光振興への波及が期待される。



あかん遊久の里 鶴雅



ヒートポンプ



温度計

奨励賞

受賞者名 ^{ゆこまんそう} 株式会社湧駒荘 〒071-0372 上川郡東川町湧駒別旭岳温泉 TEL 0154-68-4444 FAX 0154-68-4445 URL http://www.yukoman.jp/		代表取締役社長 竹内 隆治	
設立年月	昭和25年	事業	・宿泊業
従業員数	20名	概要	
資本金	6,000万円		

取組内容

^{ゆこまんそう}湯元湧駒荘別館浴場「神々の湯」 自然エネルギー（温泉排湯熱）を利用したエコ改修の取組

戦前に築造され倒壊寸前であった木造の旧客室棟をエコ改修し、省エネルギーを実現しながら環境配慮型の温浴施設として再生。

取組概要

既存の木造施設を改修することで古いものを残しながら、温泉排熱の利用等により、寒冷地での大幅な省エネルギーを実現させており、今後、各地の温泉旅館やホテルへの普及が期待できるとともに、低炭素型社会における地域密着型の温泉旅館としても貢献している。



湯元湧駒荘別館浴場「神々の湯」

新エネルギー部門

大賞

受賞者名 フクザワ・オーダー農機 〒082-0038 河西郡芽室町西8条7丁目2番地 TEL 0155-62-2600 FAX 0155-62-5977 URL http://fukuzawa-order.com/			代表 福澤 トミ子
設立年月	昭和19年 1月	事業 概要	・農業機械販売、修理

取組内容

農業機械にも太陽光発電 人と環境に優しい「ソーラー式長いもプランター」

太陽光発電とバッテリーを活用したモーターを駆動源とする新エネルギー活用型農業機械を開発し、生産農家が悩まされていた騒音、振動、排気ガスの問題を解決している。ガソリンエンジンから太陽光発電によるモーターへの改造を行うことも可能。

取組概要

太陽光発電を利用した農業機械は北海道内でも事例がほとんどなく、農業における低炭素化の促進に貢献するとともに、生産農家が悩まされていた騒音、振動、排気ガスの問題を解決し作業環境の改善にも繋がっている。従来機の改造、機器更新時等の転換による普及やブロッコリー、アスパラ用など低速で動く各種農業機械への導入も期待される。



自走式長いもプランター四人乗り



ソーラ-システム搭載長いもプランター - (二人乗り二条植えタイプ)

奨励賞

受賞者名 <small>きたこうでんしゃ</small> 株式会社北弘電社 〒060-0011 札幌市中央区北11条西23丁目2-10 TEL 011-640-22410 FAX 011-640-2324 URL http://www.kitakoudensha.co.jp/		代表取締役社長 中野 章	
設立年月	昭和26年 1月	事業	・電気工事、管工事などの設計・監督並びに請負
従業員数	183名	概要	
資本金	8億4,068万7千円		

取組内容

集合住宅向けベランダ設置型の太陽光発電システム実証実験

集合住宅への太陽光発電の取付方法を開発するため、旧社員住宅のベランダに取り付け、着雪状態や発電量についてのデータを収集し、積雪地域における新しい取付方法を提案することにより、集合住宅への太陽光発電の導入を促す。

取組概要

積雪地方における積雪の影響を受けないパネルの設置方法を検証することにより、北海道を始め東北や北陸地方でもベランダや壁面での導入が促進されるほか、企業や小中学校、公営住宅などの集合住宅への普及や、設置価格の低価格化が図られることも期待される。



実証実験状況



実証実験状況

特別奨励賞

受賞者名 稚内新エネルギー研究会 〒097-0011（事務局）稚内市はまなす3丁目2番15号 TEL 0162-33-4055 FAX 0162-33-4055 URL http://www.rera-vie.jp/		会長 長谷川 伸一
設立年月	平成17年 3月	

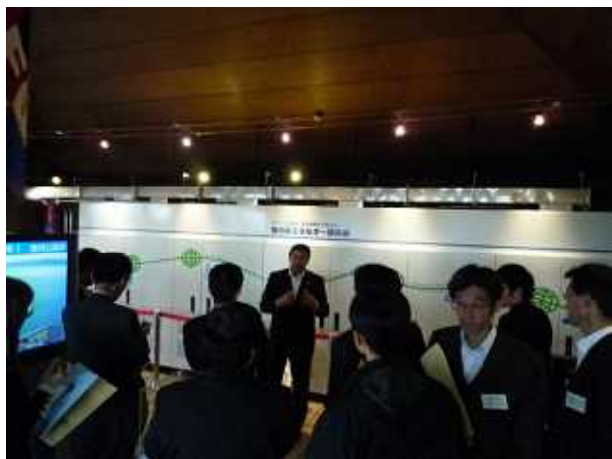
取組内容

「最北端から最先端」 新エネルギーの活用モデルとなる地球環境に優しいまちづくり

稚内は、地域資源を活かした風力発電や太陽光発電など国内最大級の施設を有し、水素製造による寒冷地型対応の燃料電池システムも設置されており、「新エネルギー最先端都市・稚内」として新しい形でのまちづくりと新エネルギーの普及啓発に繋げるため、その先導役として活動。

取組概要

大規模太陽光発電の誘致や風力発電を活用した水素製造、北海道洞爺湖サミットにおけるグリーン電力の活用提案など、低炭素社会の実現に向けた先進性のある取組を行ってきたところであり、新エネルギーの総合活用モデルの拠点としての集客力を高め、産業に好循環をもたらすなど、これまでにさまざまな成果を上げている。



稚内新エネルギーサテライト



「風のがっこう稚内」における植樹活動